

教文演劇
フェスティバル
|2018|

振替公演



KYOBUN THEATER FESTIVAL
★ 2018 ★



GRAND CHAMPION STAGE NEVER GIVE UP



劇団怪獣無法地帯+3ペ団札幌

『わらう花』
(2008年上演)



yhs

『ラッキー・アンハッピー』
(2013年上演)



星くずロンリネス

『キンチョーム』
(2014年上演)



2018.11.30 [fri] 18:50開演(18:00開場)

グランド・チャンピオン・ステージ【振替公演】

[会場] 札幌市教育文化会館 大ホール

KYOBUN
THEATER
FESTIVAL 2018
GUEST
COMMENTATOR



斎藤 歩
Ayumu Saito



鴻上 尚史
Shoji Kokami



森崎 博之
Hiroyuki Morisaki

主催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、教文演劇フェスティバル事務局 後援：札幌市、札幌市教育委員会 協力：日本劇作家協会北海道支部
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



NEVER GIVE UP !!

9月6日に北海道胆振東部地震が発生し、9月8日の「短編演劇祭」、そして翌日9日の「GRAND CHAMPION STAGE」は中止となりました。安全面を最優先とした判断となりましたが、皆様からの温かい声を受け、事務局では「演劇のチカラで活を取り戻そう」と、震災翌日から毎日、協議と調整を重ねて参りました。日々、一進一退の状況下が続きましたが、この度、GRAND CHAMPION STAGEの振替公演を実施することとなりました。

残念ながら短編演劇祭の振替公演は都合により実現できませんでしたが、より前進する覚悟を持って10年ぶりに大ホールで上演します。皆様のご支援無くして実現できなかったこのイベントを、全力で楽しみましょう！ 沢山のご来場をお待ちしております！

グランド・チャンピオン・ステージ 出場劇団

※出場を予定しておりましたELEVEN NINESはスケジュールの都合により出演できない事になりました。予めご了承下さい。



劇団怪獣無法地帯+3ペ団札幌

わらう花

作・演出：伊藤 樹

まるで生きているかのような、美しい人形を作る人形師がいるという。人里を離れて暮らすその人形師のもとに、「一目でよい、人形を見たい」という若い男が訪れる。その男が見たのは、自ら動き、語る「人形」たちの姿だった…。



yhs

※yhsの上演作品が当初の予定から変更になっています。

ラッキー・アンハッピー

作・演出：南 参

僕らは生まれてからずっと、もしかしたら生まれる前から、誰もが「人生」という障害物競争を走っています。どこかにあるゴールに向かって。科学技術が発展し、障害物を察知する能力を手に入れたところある人類は、果たして本当に幸せを手に入れることができるのでしょうか？



星くずロンリネス

キンチョーム

作・演出：上田 龍成

とあるBAR。スミ シュンタは、後輩のナス サツキちゃんに愛の告白をしようとしていた。しかし、極度の緊張で上手く告白することが出来ない。そこで使うのは「キンチョーム」という緊張を解くスリ。これで愛の告白はすんなり成功するはずだったのだが…そこには、最悪の「罠」が待っていた。

ゲストコメンテーター

GUEST COMMENTATOR

※ゲストとして出演を予定しておりました渡辺り様はスケジュールの都合により出演できない事になりました。予めご了承下さい。

斎藤 歩

劇作家・演出家・俳優・公益財団法人北海道演劇財団 専務理事 芸術監督

1987年より札幌で演劇活動、2000年より東京での俳優・演出家の仕事を開始する一方、札幌でも活動を続け、現在は北海道演劇財団の専務理事・芸術監督。札幌を拠点にした演劇創造、東京を拠点にした映画、テレビ、舞台出演など活動は多岐にわたる。

鴻上 尚史

作家・演出家

1981年に劇団「第三舞台」を結成し、作・演出を手がける。現在はプロデュースユニット「KOKAMI@network」と若手俳優を集め旗揚げした「虚構の劇団」での作・演出が活動の中心。舞台公演の他には、エッセイスト、小説家、テレビ番組司会、ラジオ・パーソナリティ、映画監督など幅広く活動。

森崎 博之

TEAM NACS リーダー・俳優・脚本家・演出家

演劇ユニット「TEAM NACS」メンバー。リーダーを務め、多くの作品の脚本・演出を手がける。年々動員数を増やし、いまや日本一チケットのとれない劇団といわれる。2018年2月～4月に上演された「第16回公演 PARAMUSHIR ～信じ続けた土境の旗を掲げて」は、原案・演出を担当する。

GRAND TALK SESSION

— 王者 × GUEST —

過去の優勝劇団と、日本の演劇シーンを牽引する豪華ゲストによるトークセッションを開催！！
今後、二度と見られないかもしれないこのGRAND TALK SESSIONを決して見逃すな！！

ご購入・ご予約済みのお客様への特典!!

9月9日[日]のチケットをご購入済み、またはご予約を頂いたお客様(CoRichでのご予約含む)は特典として
優先エリア(大ホール1階の前方)へご案内致します。

9月9日の
チケットでそのまま
ご観劇OK

お問い合わせはこちら

9:00～17:00 / 第2・4月曜休館日

教文演劇フェスティバル事務局 (札幌市教育文化会館事業課内)

TEL 011-271-5822



E-MAIL

jigyo@kyobun.org

北海道を演劇のチカラで元気にしよう



平成30年9月6日に「平成30年北海道胆振東部地震」が発生し、甚大な被害に苛まれました。少しでも復旧支援の一助となることを願い、イベント収益の一部を支援金として活用させていただきます。

教文演劇フェスティバル事務局一同

チケット情報

前売 2,500円 (当日 3,000円) ※教文ホールメイトは500円引き
高校生以下 1,000円 (当日も同料金) ※2階席のみ、教文ブレイガイド取扱い

[チケット取扱]

●教文ブレイガイド：011-271-3355 ●大丸ブレイガイド：011-221-3900
●ローソンチケット：0570-084-001(Lコード 12328)

※未就学児入場不可。車椅子をご利用の方は前日までに教文ブレイガイドまでご連絡ください。

当初予定しておりました「アフターパーティ！」(教文演劇フェスティバル交流会)は中止となりました。

[会場] 札幌市教育文化会館 大ホール 札幌市中央区北1条西13丁目

[交通機関] ◎地下鉄/東西線「西11丁目」駅(1番出口)から徒歩5分

◎JRバス・中央バス/「北1条西12丁目」バス停から徒歩1分 ◎市電/「西15丁目」から徒歩10分

※お客様用駐車場はございません。車でお越しの際は、お近くの有料駐車場をご利用ください。

[お問合せ] 札幌市教育文化会館 事業課 TEL 011-271-5822 原則第2第4月曜休

[特設ホームページ] <http://www.kyobun.org/enfes2018/>